

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。
ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第 47 号

2012年 12月 7日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部 内 資 料



支離滅裂な政治への怒いを 日本共産党への一票へ

総選挙で 議席倍増へ

3年と少し前、私たちは衆議院選挙で、国政の担い手は変えうることを学びました。ただ、その対象を間違えただけです。耳に心地よい、やれもしない政策の羅列で票をかすめとりました。この間、旧来の自民党・公明党の古い政治にうんざりしていた国民に、希望をもたらしすかと思いきや、民主党はそれ以上の旧弊な手法で混乱をもたらしただけで、今、崩れ去ろうとしています。

一方、「新しい」政党が数多く生まれ、離合集散をくりかえし、その多くは右翼的潮流の戦前のおいをプンプンとさせた、危うさを感じさせるものです。勇ましいだけの言動はより困難を生むばかり、何も解決しません。

今、国政では、震災復興・原発・オスプレイ・TPP・雇用とリストラ・消費税・経済と財政の建て直し・憲法9条保持等々、数え上げればきりが無いほど、解決しな

ければならない問題は山積しています。

こうした中で、12月16日、衆議院選挙が行われることとなりました。

日本共産党は現在9議席しか持ちませんが、多くの提案と行動で国政をリードしてきました。党の創立以来90年、恒に国民が主人公の立場で地域でも活動し続けてきた政党でもあります。

議席数倍増以上を目指します。国政に大きなインパクトをもたらす議席数を与えて下さい。政治は変えられます。

千葉5区選挙区は、浅野ふみ子、政党名を書く南関東比例区は、志位和夫委員長に加えた議席の当選を期します。

日本共産党へのご支援、心よりお願いいたします。

日本共産党浦安東支部長

元木計文



■ 千葉5区候補 浅野ふみ子



1970年千葉県生まれ。木更津工業高等専門学校卒。91年木更津市役所入職。民青同盟千葉県委員長。衆院選比例など国政候補として活動。現在、党県女性児童部長。市川市大洲在住。家族は夫と1女と1男。趣味、ガーデニング、テニス。

■ 衆院比例候補（南関東ブロック）



（南関東）
志位和夫



（南関東）
はたの君枝

ビジョン1
原発

原発依存から
即時原発ゼロへ

ビジョン2
経済

くらしも財政も悪くする増税路線から
消費税に頼らない別の道へ

ビジョン3
外交

オスプレイ、TPP アメリカいいなりから
安保なくし対等の日米関係

ビジョン4
領土問題

歴史的事実と道理に立って
外交交渉で解決を

この人に 願いを託して

村上 ますえ

「出るしかない」

彼女は決断したという

化粧つけもなく 髪振りみだして

仕事と2歳と3歳の子育てのなか

まさに苦渋の決断だった

胸が痛む この日本

中小企業がつぶされ

労働者がリストラで放り出され

母親が保育所持機で働けず

孤独死の年寄りがまた出た

こんな社会を変えるために国会に出る

決起集会の応援の拍手に驚いて泣きやまぬ

子を抱きしめて決意を語った

女性として 母として

熱い思いを語った みるみる

彼女に呼応する支援の輪がひろがる

「子どもはみてあげるから」

わたしたちのためにがんばってー」

「ママががんばっているから がんばる」と

3歳の娘までがけなげだ

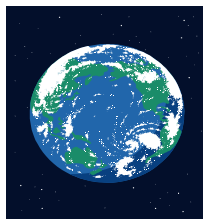
この子に私たちは負けられない

日本を変える 決意強い彼女に

願いを託してわたしもがんばらねば



地球環境と光合成生物



V. エネルギー問題と光合成（番外編）

二酸化炭素増加に伴う地球温暖化との関連で、原子力が注目されてきましたが、先の福島第一原発の事故により、原子力エネルギーの利用には大きな問題が含まれている事が一層明らかになりました。

二酸化炭素を増加させない、再生可能なエネルギー源として、光合成反応はどのような利用が考えられているのか、私見を交えて書いてみます。

最近、光合成反応の内、水を分解し酸素を発生する反応を触媒するタンパク質の構造とその中に含まれている金属原子の位置が明らかになりました。この反応を行う中心部分の構造を人工的に化学合成し、光のエネルギーを使って水から水素と酸素を作る研究も行われています。私個人としては、太陽電池の方が実用的だと思っています。太陽電池も、構造は異なりますが、光のエネルギーを使ってエネルギーを取り出す反応と言う意味で、光合成反応に近いと言えます。

光合成生物を利用した温暖化防止研究例としては、昔から、火力発電所等から出た二酸化炭素を、藻類を利用して固定するという研究が行われてきました。最近、藻類を利用した石油類生産が話題になっています。ラン藻の中には、数時間で倍に増えるというように非常に活発に増殖する種があります。そういう意味で、非常に魅力的な生物ですが、難点があります。それは、「培養液から藻類をどの様にして濃縮するか」という事です。生育の速く有用な藻類には単細胞性の物

が多く、遠心分離器というような特別な機械がないと集めるのが難しいのです。

一方、トウモロコシなどの食物を原料に、アルコール等の燃料を作る方法が既に工業化されています。均一で分解されやすい材料が大量に手に入るという利点がありますが、世界中に食べ物に困っている人が大勢いる現状では邪道です。木材チップを燃料として利用する事や、食用になる部分を除いた後の植物を利用したアルコール生産の研究がもっと推進されるべきです。

有機ゴミや下水処理場でのメタン生成と利用も、光合成ではありませんが、生物を利用したエネルギー生産系としてより一層の組織化が望まれます。いずれにせよ、政治の姿勢が問題です。

新春のつどい

2013年は県知事選・参院選の年です。衆院選で躍進して新春を祝いましょう。

- 日時 1月13日（日）午後1時30分～
- 場所 浦安市文化会館大会議室
- 会費 1500円
- 連絡先 元木 355-8526
- 主催 日本共産党浦安後援会

